

奈良県企業の正社員の採用動向

(第138回地元企業動向調査付帯調査)

【対象企業：個人事業を含む県内164先】

(注) 正社員とは「期間の定めの無い雇用契約」を締結した社員(非正社員を除く)。新卒採用は「各年度4月時点」、中途採用は「各年度中」の採用の有無を回答。

1. 正社員の採用状況

(1) 2008年度・採用実績

新卒の「採用実績あり」は25.6% (07年度30.9%)、従業員規模100人以上では78.1% (同90.3%)と多い。中途採用の「採用実績あり」は49.4% (同52.5%)であり、業種別では製造業が48.1% (同57.4%)、非製造業が50.8% (同44.3%)。従業員規模別では10人以上で50%以上の実績割合となっている(図1)。

新卒・中途の組合せ別では、「新卒・中途とも採用なし」(32.9%)が最も多く、以下、「中途のみ採用」(29.9%)、「新卒・中途とも採用」(19.5%)、「新卒のみ採用」(6.1%)と続いている(図3)。

(2) 2009年度・求人計画

「求人計画あり」は、新卒で36.6% (08年度実績比11.0ポイント増)、中途で36.6% (同12.8ポイント減)。また、「中途のみあり」が減少し、「新卒・中途ともあり」(7.3ポイント増)、「新卒・中途ともなし」(9.8ポイント増)などが増加(図2、4)。

2. 人材確保の状況【2008年度】

新卒採用での希望する人材確保の状況は、製造業では「必要人数は採用できているが、希望水準の人材を採用できていない」(44.0%)が最多で、非製造業では「希望する人材を十分な人数分だけ採用できている」(52.9%、07年度比21.3ポイント増)が最多となっている。中途採用では、製造業・非製造業ともに「必要人数は採用できているが、希望水準の人材を採用できていない」が最も多い(図5)。

製造業では、新卒・中途採用とも「人数も、水準も希望を満たしていない」企業がやや多い。

図1 2008年度・採用実績の有無

	対象企業数	新卒採用			中途採用		
		あり	なし	不明	あり	なし	不明
全産業	164	25.6	51.8	22.6	49.4	36.0	14.6
製造業	104	24.0	54.8	21.2	48.1	38.5	13.5
非製造業	59	28.8	47.5	23.7	50.8	32.2	16.9
従業員数	1～9人	34	0.0	67.6	32.4	8.8	64.7
	10～19人	36	11.1	63.9	25.0	55.6	36.1
	20～49人	38	10.5	60.5	28.9	50.0	28.9
	50～99人	24	37.5	41.7	20.8	62.5	37.5
	100人以上	32	78.1	18.8	3.1	75.0	12.5

図2 2009年度・求人計画の有無

	対象企業数	新卒採用			中途採用		
		あり	なし	不明	あり	なし	不明
全産業	164	36.6	50.6	12.8	36.6	50.0	13.4
製造業	104	35.6	51.9	12.5	35.6	52.9	11.5
非製造業	59	39.0	49.2	11.9	39.0	45.8	15.3
従業員数	1～9人	34	5.9	64.7	29.4	11.8	61.8
	10～19人	36	16.7	66.7	16.7	33.3	55.6
	20～49人	38	31.6	57.9	10.5	34.2	50.0
	50～99人	24	45.8	50.0	4.2	33.3	62.5
	100人以上	32	90.6	9.4	0.0	71.9	21.9

図3 2008年度・採用実績の有無

【新卒・中途の組合せ別】

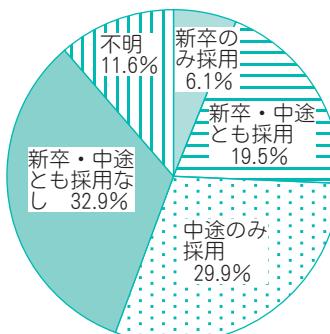


図4 2009年度・求人計画の有無

【新卒・中途の組合せ別】

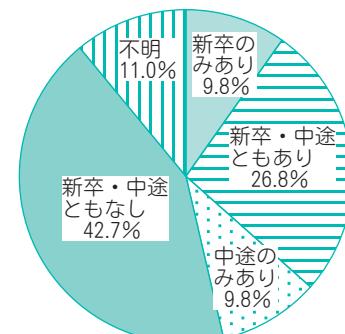
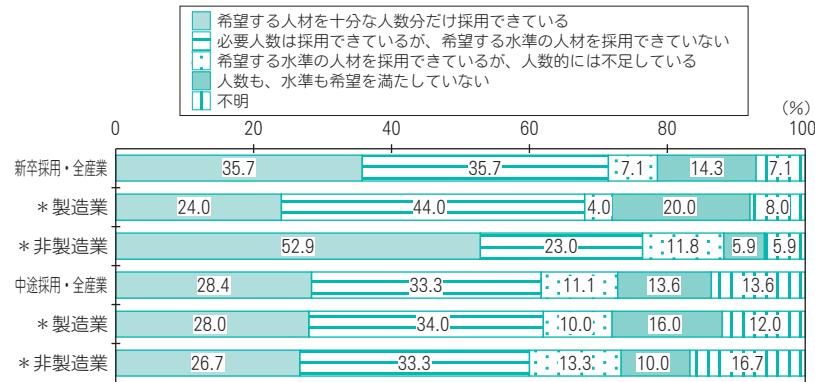


図5 人材確保の状況【新卒採用・中途採用】

【対象：2008年度に新卒採用実績あり42先、中途採用実績あり81先】



3. 中途採用で重視する項目（複数回答）

「熱意・意欲」(65.9%)が最も多く、以下「専門的知識・技能」(49.4%)、「健康・体力」(43.9%)、「行動力・実行力」(42.7%)などが続いている（図6）。

4. 2009年度・採用計画者数の増減【2008年度実績比】

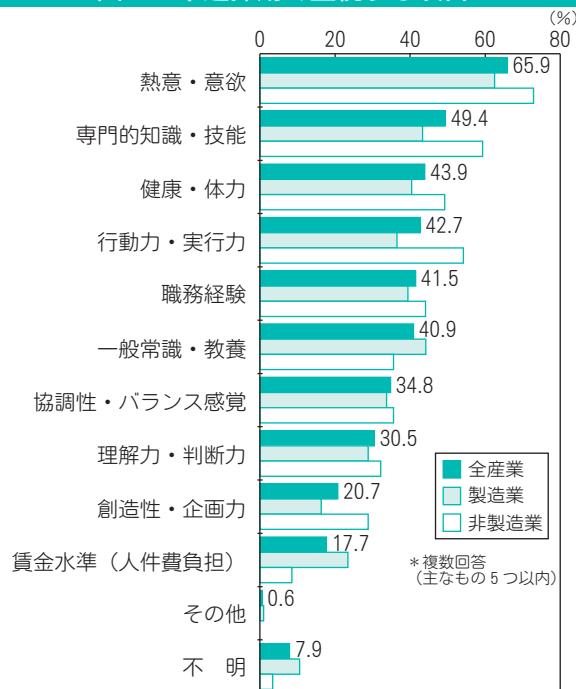
採用全体では「増加」(13.2%)、「変化なし」(50.0%)、「減少」(22.4%)となっている。新卒採用の「増加」は製造業で24.3%、中途採用の「増加」は非製造業で21.7%と多くなっている（図7）。

なお、08年度新卒採用実績あり42先のうち9.5%が新卒採用の求人計画がないとしている。また、同中途採用実績あり81先のうち37.0%が中途採用の求人計画がないとしている（図表不掲載）。

5. 2009年度採用計画での主な求人目的（複数回答）

「資質や年齢など人員構成の適正化を図るため」(59.2%)が最も多く、以下「欠員を補充するため」(51.3%)、「将来的な人手不足に対応するため」(36.8%)、「技能承継のための先行採用を行うため」(35.5%)、「業績改善に向けて体制を立て直しするため」(30.3%)などが続いている（図8）。

図6 中途採用で重視する項目



6. 総括

景気の急速な悪化に伴い雇用不安が増大する中、派遣切りや内定取消などが行われ、企業の採用活動は売り手市場から買い手市場へと状況の変化が見られる。今回の調査では、2009年度の中途採用の求人計画は08年度実績より減少しているが、新卒採用の求人計画は同11ポイント増加している。

これまで優秀な人材の獲得に苦労してきた県内企業にとっては、最近の状況変化は「人材獲得の好機」とも捉えることができる。

（島田 清彦）

図7 2009年度・採用計画者数の増減

		企業数	増加	変化なし	減少	不明
採用 全 体	全産業	76	13.2	50.0	22.4	14.5
	製造業	44	13.6	43.2	27.3	15.9
	非製造業	32	12.5	59.4	15.6	12.5
	1~9人	4	0.0	50.0	25.0	25.0
	10~19人	14	14.3	50.0	14.3	21.4
	20~49人	15	0.0	66.7	20.0	13.3
	50~99人	12	8.3	50.0	25.0	16.7
新 卒 採 用 種 類	100人以上	31	22.6	41.9	25.8	9.7
	全産業	60	18.3	56.7	25.0	0.0
	製造業	37	24.3	43.2	32.4	0.0
	非製造業	23	8.7	78.3	13.0	0.0
	中 途 採 用 種 類	60	15.0	61.7	20.0	3.3
	製造業	37	10.8	59.5	24.3	5.4
	非製造業	23	21.7	65.2	13.0	0.0

図8 2009年度採用計画における主な求人目的

